

<発行にあたって>

「JASMEQ」の設立趣旨である、中小食品企業を主な対象とした、食品製造管理の向上及び課題改善への取り組みの「お役に立つ」ための、定期的な情報提供と、それを通じての相互交流（JASMQと関連企業、企業同志）の「場づくり」を目的に、「NO2」を発行させていただきました。

少しでも皆様のお役に立てればと考えています。試行を重ねながらになりますが、皆様のご意見・参加をいただきながら、充実した内容にして行きたいと考えています。

また、投稿・ご意見欄も設けてゆきますので、皆様の問題提起、ご意見ご批判、投稿を期待しています。今後「相互交流の場」として活用いただければと期待しています。

「JASMEQ」へのより一層のご支援協力をお願いして、発行の挨拶とさせていただきます。

夏本番を前にして再確認の提案

JASMEQ顧問 中村 優

1、品質管理について

いよいよ夏本番となります。食品を取扱う者にとっては、色々と神経を使う時期となります。そこで、今回は2つの事について、確認されることを提案します。

1) 食中毒防止（衛生教育の実施）について

食中毒予防3原則（つけない、増やさない、殺す）から、全従業員対象に以下の教育を実施しては、どうでしょうか。

① 「手洗い」について

毎日やっていることだから今更と思われそうですが、案外キチットされてないことが多いです。工場点検に行きますと、「指の間」や「指の先」をキチット洗って無い方が結構います。全員に「注意喚起」と、「手洗い方法の点検」を実施してみてください。

② 室内の温度管理と製品の滞留時間について

毎日、室温を記録し管理されている工場もありますが、室温管理されていない工場は、この機会に記録をとってみたいかがでしょうか。

場所によって温度管理の違いはあると思いますが、1日3回どのように変化しているか見て、必要なら対策を取ってください。

それから、製造中の「製品滞留時間」も併せて確認してください。できるだけ、「小ロットでの作業」と「先入れ先出し」の徹底をすることも大事です。

2) 防虫対策について

昨年、「虫の混入」で製造が中止になった事故がありましたが、その虫が1年で一番増加する時期となります。

対策はどのようにされていますか？ 点検と対策について以下参考にしてみてください。

(1) 工場点検について**① 排水溝**

・排水溝の詰りや排水升は封水されているか確認してください。排水の臭いがする場合は

特に注意してください。

② 配電盤

- ・配電盤に隙間があると食材が入り込んで、虫の巣になることがあります。一度点検をして、汚れている場合は、掃除を実施してください。

③ 配線配管

天井や壁等に配線されて居る配管の穴や隙間が開いていないか確認してください。パテ等で隙間が埋められていればよいですが、工事の時に、言っていないと案外忘れることが多いです。

④ 排気設備

飛翔昆虫が入らないような構造になっているか確認してください。又、排気が24時間稼働していても、停電や工事等で電気が止まった場合に侵入することがあります。物理的対策を行ってください。

(2) 補虫(器)について

① 補虫器

モニタリングの補虫器は、補虫を積極的に行うための機器でないため、出入り口付近に設置し、工場の奥に虫が行かないように設置場所を確認してください。

もし、積極的に補虫するなら、**捕獲用補虫器**(電撃殺虫器は虫が飛び散るので不可)が効果的です。パル・ミートの山形事業所で昨年テストした時は通常の補虫器より1.1倍(設置場所や条件に変わります)の補虫数でした。

② 殺虫剤の使用

工場内で虫を殺す(防虫含む)ために、「殺虫剤の散布」や「防虫の吊るし物」をしている工場がありました。薬剤が気化して、食品に混入する可能性があります。

虫を減らすためには、徹底した掃除を行うようにして下さい。

2、パルシステムの品質管理報告

この間、色々な会議で品質保証部から事故報告されていますが、参加されていない方もいますので、一部紹介いたします

1) 商品事故状況

① 申告数 5708件(前年比 117.1%) (4~2月累計)

② 2014年の異物混入、2343件(前年比123%)で事故全体の38%を占める
異物混入内訳(4~2月累計)

年度	毛髪	虫	金属・鉱物	その他	合計
2014	447	195	132	1335	2109
前年比	117.6	118.9	111.8	127.0	123.1

③ 異物混入対策について

- ・原料由来⇒原料段階での異物除去
- ・製造工程⇒金属粉・グリース・プラ片等の製造ライン沿いにある周辺部品点検
- ・作業員由来⇒毛髪
- ・「金属異物」⇒金属探知機の「テストピース」での適切なチェックと、運用
- ・「鉱物」⇒リスク管理
- ・「虫」⇒モニタリングの実施と対策

2) パルシステム協会の品質管理部報告

<品質保証部 (新) 部長 西田 隆氏よりの報告>

2015年度のパルシステム協会の品質管理部活動計画

① 品質管理学習会の実施

目的：工場点検で点検ポイントの目線合わせ、微生物コントロールの知識習得でスキルアップを行う。改善の事例発表で工場の意識向上と他社への意識づけにつなげる。

- ・工場点検の実施・・・異物混入対策を重点的に行う
- ・微生物コントロールの知識・・・パル検査センター
- ・工場改善事例報告・・・メーカーから報告
- ・その他・・・優良工場の表彰、会員生協の視察

② 2015年度品質管理強化月間とポスター作成

月間：7～9月で予定

テーマ：「異物混入」を無くす（案）

3、その他のお知らせ

- ① 2015年、通信教育の開始。初級編9期、今年より中級編クラスもスタート。
- ② 第5回商品事故削減会議：8月～9月開催予定ですめています。

以上

(NO2発行担当 中村 優)

<編集後記>

■「NO1号」発行後、送付メンバーから、菓子メーカーさんの「一部食感の悪い商品の自主回収」についての意見が寄せられました。該当会社さんは、創業者からのトップ交替もあり「お客様：ユーザー第一」の考え方が強まっていたようです。皆様に賛否はあろうかと思いますが、「イザわが社！」となったときにどうするかは難しい問題だと思われまます。

■次号「NO3号」（7月末～8月初旬予定）では、「消費者と食品製造リスク」について考えてみたいと思っています（予定変更になるかも知れませんが・・・）。よろしければ、次頁の「ご意見、投稿用紙」も活用いただき、ご意見感想などいただければ幸いです。

もちろん、他のテーマや昨今の関心事も歓迎です。

■皆様には、BCCでお送りしていますが、取引関係者及び関連会社の関係者への送付先追加希望がありました紹介下さい。

(JASMEQ 監物)

皆様のご意見、投稿をお待ちしています。

お名前 _____ (匿名希望は希望ペンネーム等 _____)

御社名 _____ (公開可 非公開希望)

次号以降への掲載 _____ 掲載希望 _____ 掲載は希望しない。

(以下、自由に記載いただきメールで返信下さい。また、別紙：F A x のスキャン可でお送りいただいても結構です。

但し、内容について、J A S M E Q 事務局が、特定の企業、個人に対する機密の漏えい及び誹謗中傷と判断した場合は、掲載しない場合があります。また、会員及び賛助会員にたいする場合は、それぞれの責任者に通報させていただく場合がありますのでご承知置き下さい。また、長文にわたる場合は3頁前後を希望しますので、長文の場合は、ご相談の上分割掲載等とさせていただきます。)

題名 (無くても結構です)